

第1章 調査の概要

1．調査研究の目的

諸外国におけるボランティア活動に関する諸制度や教育分野での取組状況についてデータを収集・分析し、今後の施策の推進の基礎資料に資する。

2．調査研究内容及び実施方法

(1) 調査対象国

アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデン、韓国、中国の7カ国

(2) 対象者

ボランティア活動者は、子どもから高齢者までを対象とする。

(3) 調査項目

ボランティア活動に関する考え方、社会的背景

ボランティア活動に関する制度の概要(関連する法律、所轄機関など)

の制度による施策・事業(概要、実施方法など)

制度外の事業(実施主体、活動の概要、実施方法など)

ボランティア活動の振興・実施のための社会的基盤の状況(参加促進のしくみ、参加保証など)

(4) 実施方法

文献調査 国内外の文献調査、調査対象国の関連 HP 検索

有識者ヒアリング調査

図表 1-1 ヒアリング調査を実施した有識者

| 調査対象国 | 有識者 |
|--------|-------------------------|
| 米国 | 大阪市立大学大学院創造都市研究科 教授 柏木宏 |
| 英国 | 亜細亜大学 教授 栗田充治 |
| フランス | 東京都立大学法学部 助教授 高村学人 |
| スウェーデン | 大阪大学大学院人間科学研究科 助教授 斉藤弥生 |
| 中国 | 駒澤大学文学部 助教授 李 妍焱 |

3. 実施体制

本調査研究を進めるために、「諸外国におけるボランティア活動に関する調査研究実行委員会」を組成した。

図表 1-2 諸外国におけるボランティア活動に関する調査研究実行委員会メンバー

| 役職・担当 | 氏名 | 所属 |
|-------------|--------|---------------------------|
| 委員長 | 奥原 英彦 | 株式会社日本総合研究所 研究事業本部 マネジャー |
| 委員 | 中村 陽一 | 立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科 教授 |
| | 長沼 豊 | 学習院大学 教職課程 助教授 |
| (総括・米国担当) | 矢ヶ崎 紀子 | 株式会社日本総合研究所 研究事業本部 主任研究員 |
| (英国・フランス担当) | 岡元 真希子 | 株式会社日本総合研究所 研究事業本部 主任研究員 |
| (ドイツ担当) | 志水 武史 | 株式会社日本総合研究所 研究事業本部 主任研究員 |
| (スウェーデン担当) | 入山 泰郎 | 株式会社日本総合研究所 研究事業本部 主任研究員 |
| (韓国・中国担当) | 齊木 大 | 株式会社日本総合研究所 研究事業本部 研究員 |